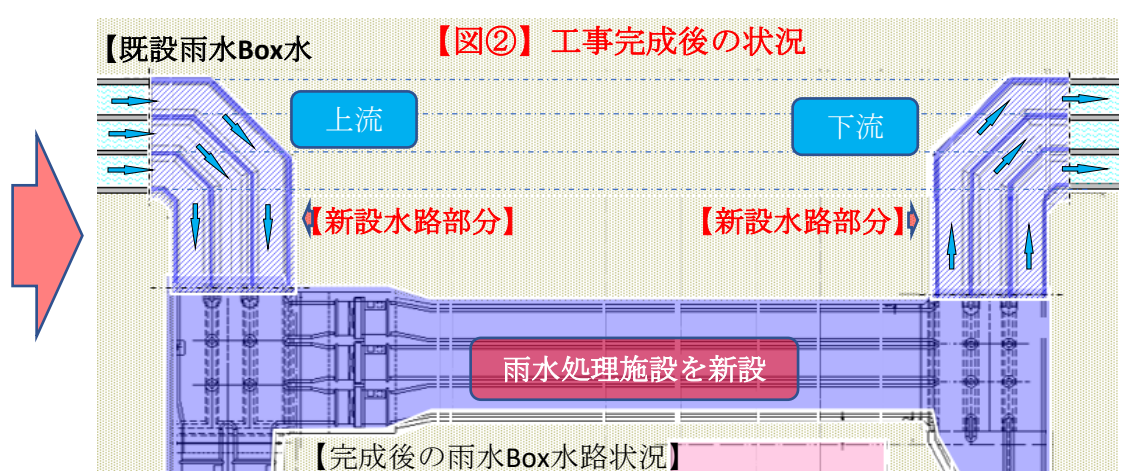
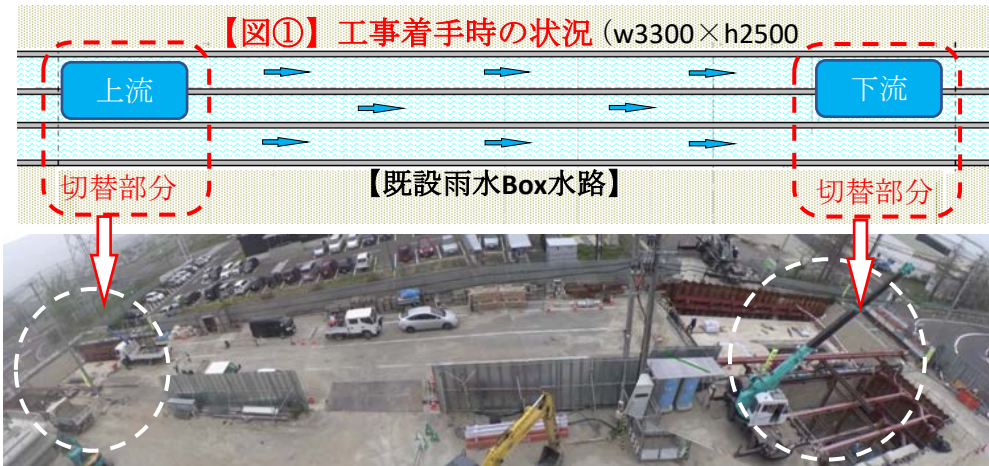


大型Box水路 (w3300mm×h 2500mm) 3連 の大規模流路変更工事に伴う水替え工事



【工事説明】

【図①】に示す既設大型Box水路 (w3300* h2500) 3連を【図②】に示すように雨水処理施設の新設に伴い、迂回水路を構築し、流路の変更を行う工事。

【工事に使用する主なプラグ】

【写真1】 Box型プラグ (w3300mm* h 2500mm) 6基

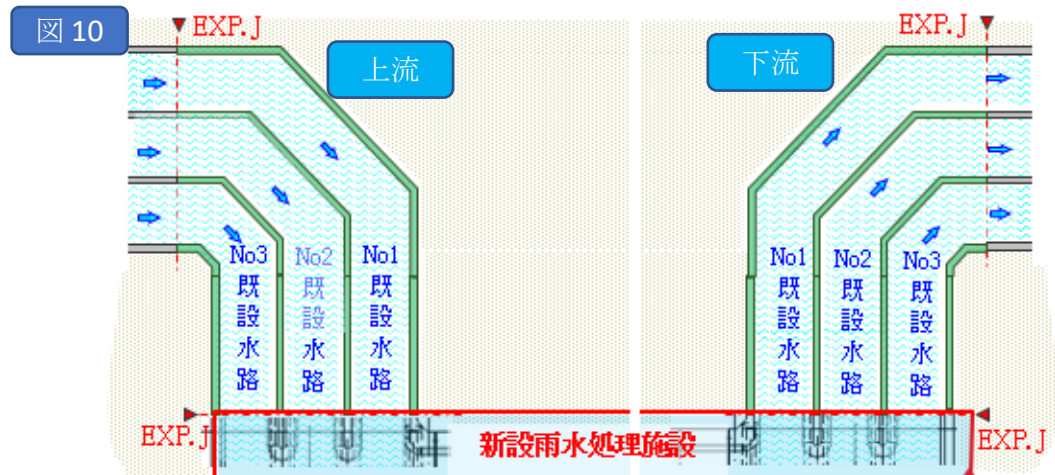
【写真2】 バッフル型プラグ (w8080mm*2500mm+w8080*1500) 4基



写真1



写真2



【水路切替完了の状況】

図1

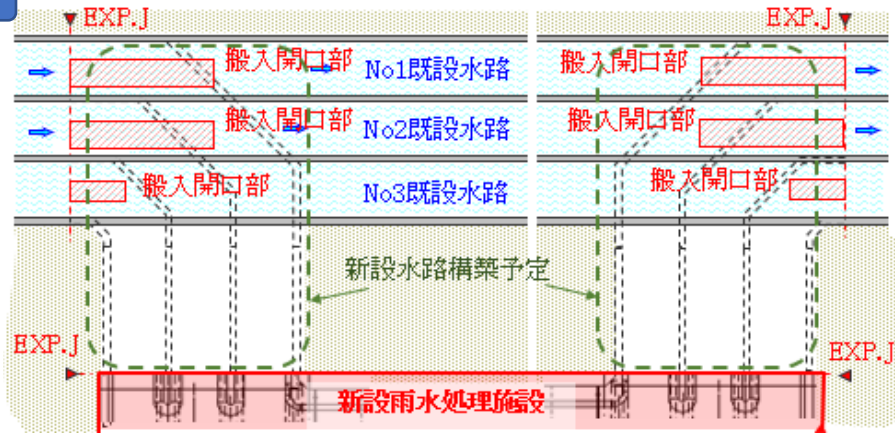


図2

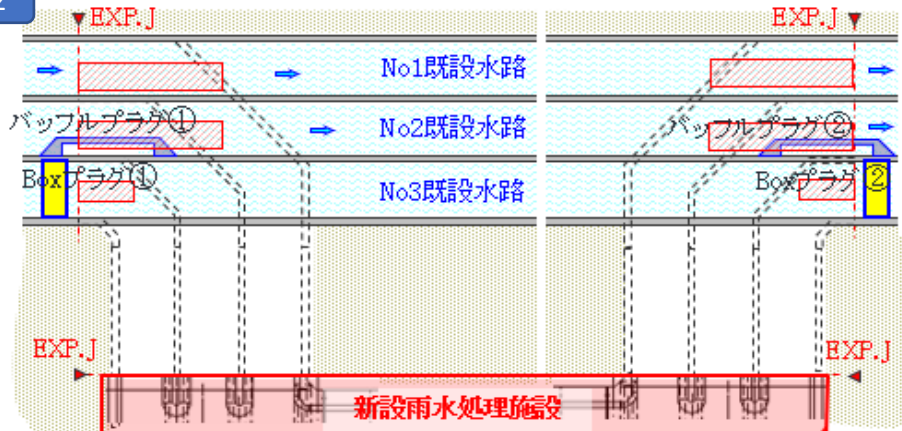
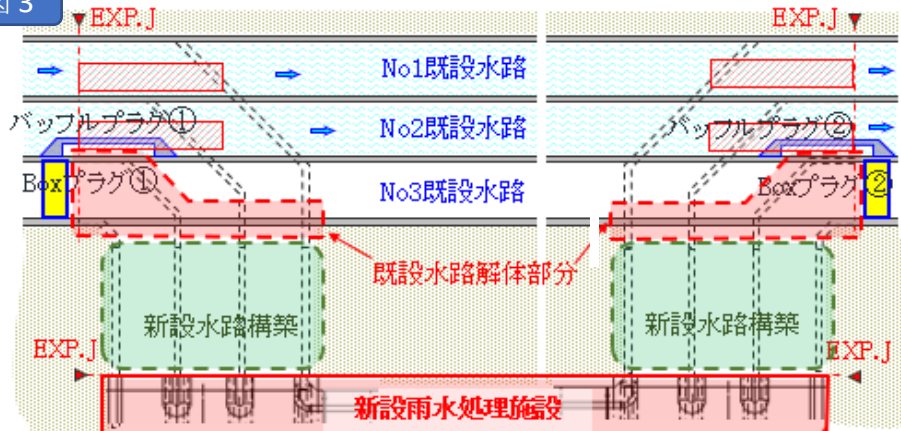


図3



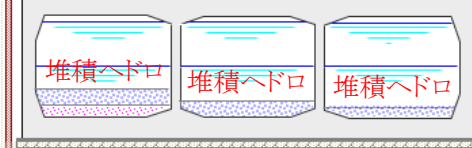
【手順1】

図1に示すように、既設水路天井スラブへプラグ搬入開口を開ける。
次に、下図のように既設水路底面はへドロがあり、除去を行う。

▼ 地上部分

各水路サイズ w3300mm × h2500mm

No1既設水路 No2既設水路 No3既設水路



【手順2】

下写真中央部は下流側の新設水路構築予定部分。
写真左がNo3既設水路側壁部分、右が新設雨水処理施設部分。



【手順3】

図2に示す、No2水路搬入開口部からバッフルプラグ①②を上下流の所定位置へ設置します。
(写真はバッフルプラグ設置状況)



【手順4】

次に、No3水路の上下流へBoxプラグ①②を設置します。
(バッフルプラグ、Boxプラグ設置作業は水中でのダイバー併用作業となる。)



【手順5】

上下流プラグ4台の設置が完了後、No3水路の残流水を排出する。
次に、図3に示す、上下流部分の既設水路解体を行う。(写真は解体状況)



【手順6】

図3に示す、雨水処理施設接続No1～No3新設水路上下流の躯体構築を行う。
(写真はNo3既設水路解体後のバッフルプラグとBoxプラグ)

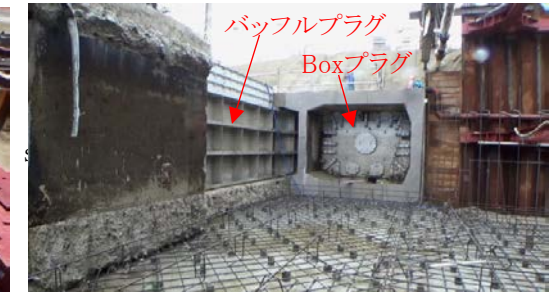


図4

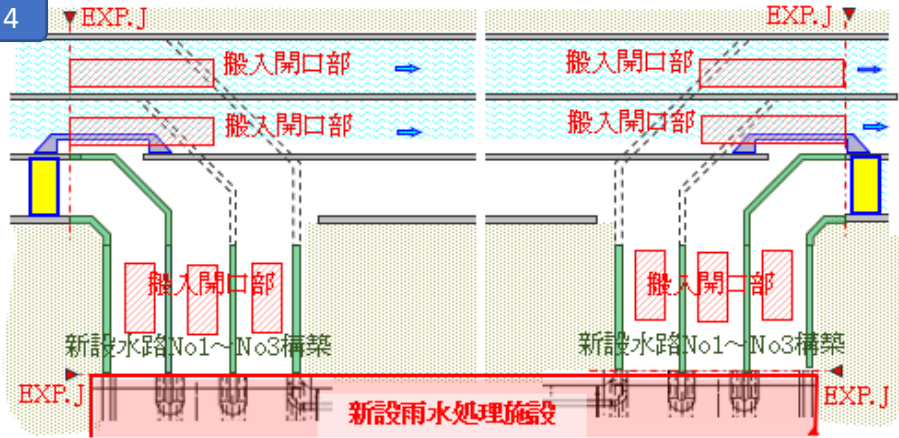


図5

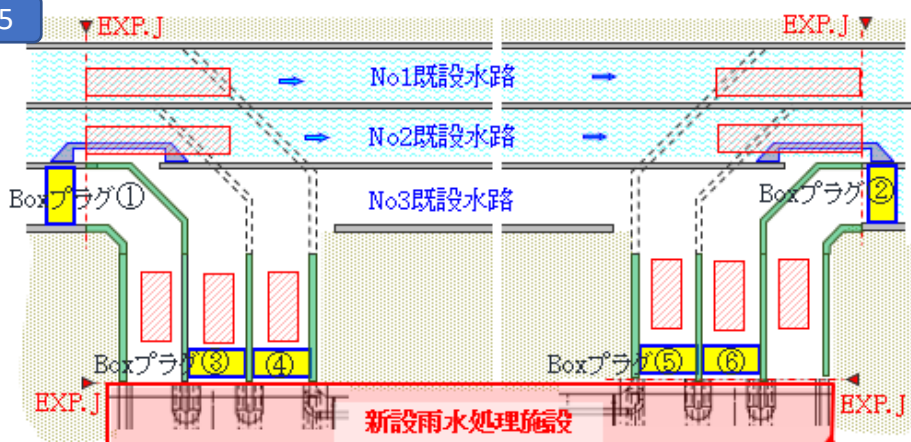
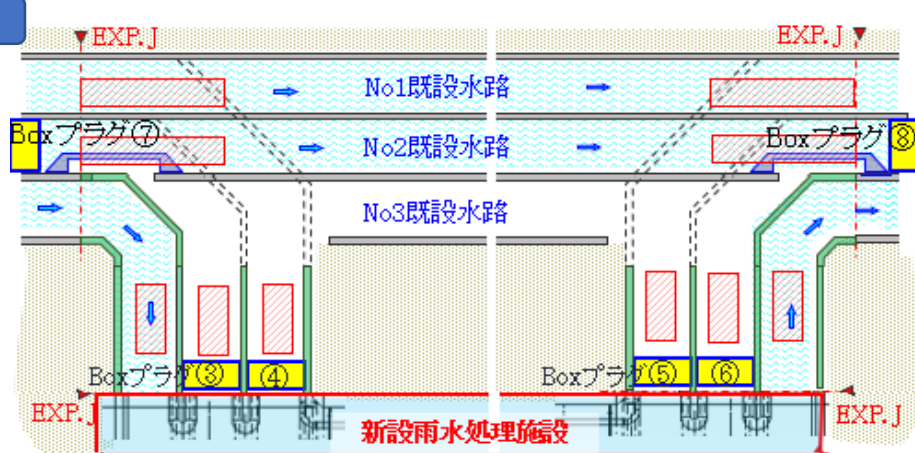


図6



【手順7】

雨水処理施設接続No1~No3水路の上下流躯体構築が完了。
 (写真は上流側新設水路構築完了状況、左からNo3, No2, No1水路)



【手順8】

図4に示すように、上下流No3水路の新設、既設部分接続完了。
 (写真は新設水路No3接続部の内部を見る)



【手順9】

次に、図5に示すBox プラグ③④、⑤⑥をNo2、No1水路に設置する。
 (設置作業は水のない状態での作業)



【手順10】

Boxプラグ③④、⑤⑥設置完了
 (写真は、新設水路No2部分へBoxプラグ設置完了状況)



【手順11】

次に、No3既設水路のBoxプラグ①②を撤去し、図6に示すように、No3新設水路、新設雨水処理施設へ通水する。
 (写真はBoxプラグ①の搬出状況)



【手順12】

次に、No2既設水路へBoxプラグ⑦⑧を図6に示す位置へ設置します。
 (写真はNo2既設水路へ設置されたBoxプラグ⑧)



図7

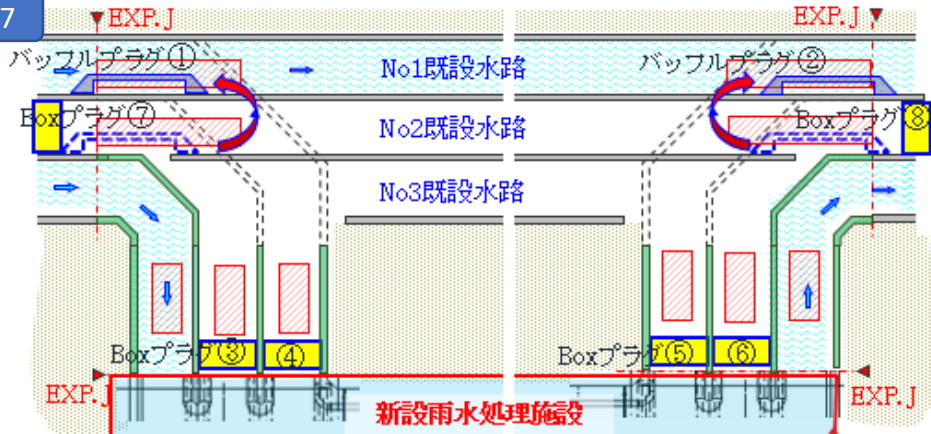


図8

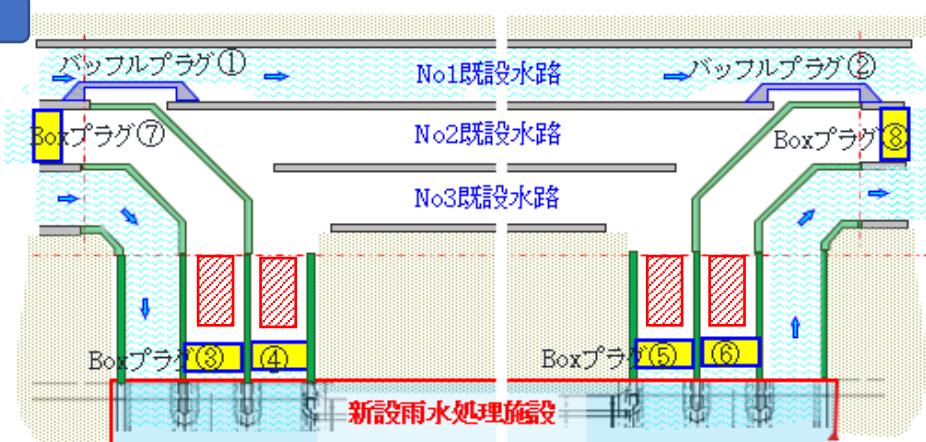
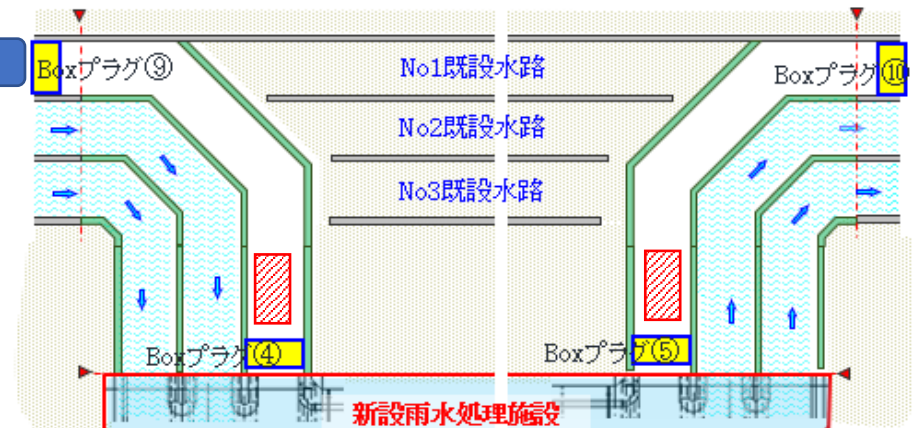


図9



【手順13】

次に、No2既設水路のバップルプラグ①②を取外し、図7に示すように、No1既設水路へ設置します。



【手順15】

図8に示すように、前回同様に上下流No2水路の新設、既設部分を接続する。(写真はNo2接続部水路上流側、ステコンクリート完了状況)



【手順17】

前回同様、図9に示すようにNo1既設水路へBoxプラグ⑨⑩を設置する。

No2、3既設水路と同様に、新設水路構築に不要な既設水路の部分を解体します。

図9に示すように、前回同様に上下流No1水路の新設、既設部分を接続する。

接続完了後Boxプラグ④⑤、⑨⑩を撤去、搬入開口を塞ぐ。

【手順14】

No3既設水路と同様に、No2新設水路接続部構築に不要な部分を解体します。



【手順16】

No2既設、新設水路接続完了後、No2既設水路のBoxプラグ③⑥、⑦⑧を撤去し、図9のように通水する。(写真はNo3既設水路、No2水路接続躯体の状況)



【手順18】

以上で雨水処理施設新設に伴う水替え工事は完了です。図10 (写真点線内部は既設水路と新設水路の上流側接続躯体構築部分)

